

夏まつり

やしおみ荘

8月6日(日)毎年恒例の「夏まつり」が開催されました。

当日は台風が接近している事もあり、天候の心配もありましたが、日差しの照りつける気持ちのいい天候の中、オープニングの花火を鳴らし、いざ始まりです。

オープニングを飾って頂いたのは、去年に引き続きブアナニフラのフラダンスチームです。小学生から中学生の子供たちのチームと魅力的なダンスの大人のチームに華やかに踊って頂き、会場を盛り上げて頂きました。その後、模擬店も賑わってきたところで、大道芸の悠雲さんの演技が始まりました。子供も大人もステージに大注目。ジャグリングの演技や大きなコマを天高く飛ばす等のダイナミックな演技に拍手が湧きました。

続いて、ソプラノ歌手の橋本妙子さんの歌謡ショーです。誰もが知る「アメイジンググレイス」を始め、様々な名曲が遠野の町に響き、ステージが終わると自然にアンコールの声が上がり、アンコールにも応えて頂きました。

素敵な歌の次は、夏祭りといえば盆踊りです。金山お囃子会さんの演奏に合わせ、櫓の周りを利用者も地域の方の踊りに負けまいと元気よく踊っていました。

踊り終えた後は、やはりこれ。志摩幸子さんのステージです。どこからともなく「さっちゃん」の愛称も飛び交い、ステージ前のお客さんも最高潮です。歌の途中でステージから降り、お客さんに握手して回る大サービス。皆さん嬉しそうな表情でした。

地域の方と関わりをもつ大きな行事の一つですが、こういった機会を通し、今後も交流を図っていきたいと思います。開催にあたってご協力頂いた方々には、この場をお借りしまして御礼を申し上げます。ありがとうございました。



カレー作り・スイカ割り

チャーむ・第2チャーむ・みによん

8月19日(土)、今年もチャーむ・第2チャーむ・みによん合同の行事で、カレー作りとスイカ割りが行われ、とても賑やかな催しとなりました。子供たちはエプロン、マスク、三角巾を身に付けて準備を整えると、野菜の下ごしらえを始めました。ピーラーを使って野菜の皮をむく姿は真剣そのもの。また職員と一緒に包丁で切る作業に挑戦する子供たちもあり、普段とはまた違ったとても積極的に参加する姿を見る事が出来ました。下ごしらえを終えると、出来上がりまでは職員が調理し、その間にスイカ割り大会を行いました。一人ずつ目隠しをして豪快にスイカを叩いていきます。「もう少し右だよ」「頑張れ」など、応援の声も聞かれました。大きくて硬いスイカも、子供たちが一致団結すれば、あっという間に割れてしまいました。紙芝居を聞いている頃にはカレーのいい匂いが漂い、いよいよ昼食の時間です。「美味しいね」「おかわりする」など、笑顔を浮かべながら食べていました。

いろいろな所に出掛けた夏休みに、更に素敵な思い出を加えた1日になりました。



ふじみの森フェスティバル ふじみの園

9月23日(土)に第26回ふじみの森フェスティバルを開催しました。たくさんのボランティアの皆様にご協力いただきました。各種模擬店の販売や催し物のゲームのお手伝いをして下さいましたのは、遠野地区社会福祉協議会様、常磐開発株式会社様、せせらぎ会様、福祉レクリエーションネットワーク様、日清医療食品株式会社様、誠心会後援会様です(写真はボランティアの皆様です)。ご出演は、志摩幸子様、菊地章夫様、いわきラブフィーストゴスペルクワイア様、LDR様、湯本高校フラダンス部ウエリナマハロ様でした。ボランティア・出演者の皆様のお力添えで会場は大いに盛り上がりました。そして、地元の根本地区の皆様のご理解とご協力があり、今年も無事に開催することができました。心より御礼申し上げます。



* ボウリング大会 *

虹のかけはし・ワークセンターしおさい

8月25日(金)午前中の作業を終え、いわきゴールドレーンにて暑気払いのボウリング大会を開催しました。

今回は、虹のかけはしとワークセンターしおさいの合同大会となり両事業所混合で6チームに分かれ2ゲーム行いました。いつものボウリング大会とは違い、大人数での開催だったこともあり、開始からどのチームもとても盛り上がり応援にも力が入っていました。普段は別々の場所で仕事をしていても、ハイタッチをしたり声援を送ったりと自然と団結力も生まれ、そんな皆さんの姿はとても楽しそうに輝いていました。時間はあっという間に過ぎましたが、利用者同士の交流も深まった貴重な時間となりました。気分もリフレッシュし、明日からの仕事への活力にもなったと思います。最後は笑顔で集合写真を撮影し締めくくりました。



* 暑気払い *

天真庵

8月16日(水) 午前中に作業を行い、午後から天真庵にて暑気払いを行いました。食事の後は、皆でだるまさんがころんだ等昔ながらの遊びをしました。仕事とは違った笑顔が見られ、楽しい時間を過ごすことが出来ました。



7月19日(水)～20日(木)、26日(水)～27日(木)と2班に分かれて一泊旅行に出掛けて来ました。



第1班は、

仙台・山形の旅です。仙台ではうみの杜水族館を見学し、名物の笹かまぼこを自分達で焼ながら食べました。山形では特産品の紅花でハンカチ染めをし、薄紅色に染まる様に女性陣からは歓声が上がりました。また、うさぎの駅長がいる長井フラワー線の宮内駅でうさぎ駅長に会い、本物(人間)の駅長さんと写真撮影をしました。



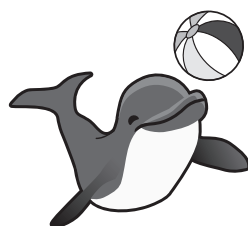
第2班は、

猪苗代・会津の旅です。猪苗代ではわっぱ飯を食べ、猪苗代湖での遊覧船を楽しみました。雲一つない青空の下、遊覧船から湖と山々の景色を眺めることができ、とても気持ち良かったです。会津では貸衣装を着て、白虎隊になりきりました。白虎隊になった利用者の表情は勇ましく、本物の白虎隊の様でした。温泉ではゆっくり湯に浸かって美味しい料理を食べて、リフレッシュ出来ました。帰りのバスでは「楽しかったね」「また行きたいね」という声も聞かれ、皆さん大満足の旅行だったようです。



9月7日(木)～8日(金)、茨城方面へ利用者14名、職員5名で一泊旅行へ出かけてきました。1日目は、筑波山をロープウェイで登りました。雨は降らなかったもののあいにくの曇りで周りが霧で真っ白、きれいな風景は見ることはできませんでしたが、利用者はロープウェイに乗れただけでも嬉しそうでした。次は、JAXA筑波宇宙センターに行き展示館を見学し、宇宙飛行士のサインを見て歓声をあげた方もいました。館内では宇宙食を試食・購入し、たこ焼きやプリン等も美味しかったです。2日目は、アクアワールド大洗へ。入館する前にさっそくお土産売り場で靴下やタオル等、各自思い出に残る物を購入していました。いろいろな魚やアザラシの食事風景、イルカショーを堪能し、帰りのバスの中では熟睡している方もいました。

今回も思い出が多く残る旅行となりました。



福祉体験学習

ふじみの園

9月14日(木)福祉体験学習の為、磐崎中学校の1年生男女10名が来園されました。利用者への歯磨き支援の様子や余暇時間を見学したり、日中活動のミュージックケアや身辺整理を実際に体験したりと、日頃どのように利用者が生活し、どのような支援が行われているのか、興味・関心を深めていただきました。学生と利用者が一番深く関わりを持てたミュージックケアでは、積極的に踊りを披露する利用者を前に少し困惑している学生もいましたが、中には利用者の手本を見ながら笑顔で元気よく体を動かしている学生もいました。短い時間ではありましたが、中学生との関わりの中で利用者にはたくさんの明るい笑顔が生まれていました。

福祉体験学習後にアンケートをとらせていただきました。いくつかの回答を掲載させていただきます。

- ①福祉の仕事についてどのようなイメージがありますか。
 - ・大変そう
 - ・高齢者や障害者の手助け(お世話)をする
- ②楽しかったことは何ですか。
 - ・入所している方々と会話することが出来たこと
 - ・ミュージックケアで利用者の方と一緒に踊れたこと
- ③ふじみの園に来て新しく気づいたことがあれば教えてください。
 - ・職員が利用者の方一人ひとりに丁寧に接していた
 - ・障害者の方々が職員と親しくしていて、見ていて楽しそうだった
 - ・ふじみの園の利用者の方々は、障害があっても前向きに楽しそうに過ごしている
 - ・一人ひとりに個性がある



福祉体験終了後、ふじみの園に来る前と後でのイメージが変わったと学生より話がありました。それは、障害をもつ方々は生活の全てをお世話されているというイメージであったが、見学・体験を通して、施設で生活する利用者の方々が自分たちと同じように自分で出来ることは自分で行い、楽しく生活しているのだと知ることが出来たからだそうです。福祉体験を通して障害に対しての印象が変わったと話す学生が多数おり、福祉に対する様々な思いを感じとってくださったようでした。

7月12日（水）～14日（金）、26日（水）～28日（金）の各3日間、福島県総合社会福祉センター講堂にて開催された「平成29年度福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 初任者研修」に、ふじみの園から昨年の4月に採用となった2名が参加しました。研修には障害者施設従事者だけではなく、介護職員や保育士といった福祉サービス提供者が参加していました。福祉サービスを提供するうえでの理念・倫理やキャリアデザインを学ぶ講義、グループでの演習では各業種の方々と意見交換を行いました。

山口 真由

今回の研修を通し、福祉サービスとは何かを改めて見直すことができました。利用者との関わりを深めるだけでなく、常に自己目標を掲げるのはもちろんのこと、他者から期待されていることも意識して業務にあたることで、より責任感のある職員に近付けたと感じました。今後も福祉職員としての意識を高め、より良い支援が提供できるよう努力していきたいです。

岡田 みなみ

研修を受け仕事の教わり方や福祉職員の基本となる行動等を再確認でき、福祉職員としてだけでなく社会人としての初心に返ることができました。今後は研修で学んだことを意識しながら業務に取り組んでいきたいです。



ご寄附をいただきました

ちゃーむ

放課後等児童デイサービス事業所の活動費として、障害のある子どもの放課後保障全国連絡会様より寄附金96,000円をいただきました。現在、ちゃーむの放課後等デイサービスには小学校1年生から高校3年生のお子さんが利用しており、日々、元気に活動しています。いただいた寄附金は、子どもたちの様々な経験や充実した支援に役立て、これからも元気で笑顔のある生活が送れるよう、子どもたちに寄り添いながら支援に務めて行きたいと思っています。障害のある子どもの放課後保障全国連絡会 理事長 園山満也様を始め皆様、この場を借りて御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

新任職員あいさつ

ふじみの園・みによん・せんとらる



ふじみの園生活支援員
大平恵一さん

福祉業界で仕事をするのが初めてのため色々戸惑うこともあります。日々成長できる職場だと実感しました。今までの職種で得た知識と経験に新しく福祉の知識と経験を取り入れ、生活支援員として、また人としてより一層成長できるよう頑張ります。



みによん指導員
諸橋亨介さん

6月よりみによんで働かせていただく事になりました。児童の施設で働くのは初めての経験ですが、毎日何か一つでも新しい事を覚えていき勉強しながら皆様のお役にたてるよう、精一杯頑張っていきたいと思っていますので、宜しくお願い致します。



みによん指導員
芳賀美穂子さん

6月よりみによんに配属になり、元気な子どもたちに囲まれ毎日楽しく活動しています。子どもたちには、みによんでの活動が成長の場となるように、一人ひとりとしっかりと支援して参りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



せんとらる相談支援補助員
松野美智子さん

福祉の仕事に就いて8年目、まだまだ未熟者ではありますが、今後相談員としての知識を得て、経験を積み重ねながら「和衷共済」の気持ちを持って、日々精進していきたいと思っています。これからどうぞ指導の程、宜しくお願い致します。

寄付を頂いた方

佐藤 淳一 様（佐藤理容所 様）

障害のある子どもの放課後保障全国連絡会様

編集後記

読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋。

皆さんは、どの秋を堪能されていますか。

また、風邪をひきやすい季節でもあります。

うがい、手洗いをこまめに行ない、アルコール除菌やマスク着用するなど、予防に努めて下さい。